

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

3 年 1 組		指導者	馬場 美咲	教科等	国語
単元	単元名等	もっと知りたい、友だちのこと			
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 で囲ってください。		
	知識及び技能	知識・技能	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができるようにする。 【(1)イ】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができるようにする。 【A(1)エ】 ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにする。 【A(1)ア】		
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもとうとするようにする。		
	単元の学習展開（全6時間）				
	導入	□学習の見通しをもつ。			
	展開	□友達に知らせたいことを決めて、ノートに書く。 □話の聞き方や質問のしかたについて確かめる。 □友達の話聞いて、質問する。 □どのような質問で話が広がったり、友達のことがよく分かったりしたかを伝え合う。			
	終末	□学習を振り返る。			

本時 (3 / 全6時間)	ねらい	話題や話し手が伝えたいことの中心について、 教科書の対話例と教師自作のエラーモデルを比較することによって、 必要なことを質問しながらインタビューすることができるようにする。 【◆思考・判断・表現 ノート記述】			
	学習過程	<div> 「めあて」と『課題』 「友だちの話聞くときに大切なことや質問の仕方を考えよう。」 『どうして、質問するときには、話題と、話す人がいちばん話したいこと（話の中心）は何かを考えながら聞くとよいのかな。』 </div> <div> 『まとめ』と「振り返り」 『話題や話の中心を考えると、相手の言いたいことがよく分かり、質問がしやすくなるから。』 「自分が知っていることとつなげながら、話を聞くことも大事だな。」 「自分が特に知りたいことを考えて、質問を選び、何を知りたいのかが分かるように質問するといいな。」 </div>			
	児童に 対する 状況 の手立て	【予想されるつまずき】		【必要な支援・手立て】	
		・ 質問する内容を考えることが難しい。		・ 「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「なぜ」 「どうして」「どのように」といった知りたいことの観点を与える。	